

「易経を知ったことで、自分自身を俯瞰して見られるようになりました。ビジネスの意志決定に大きく役立っています」

株式会社アントレ・ラボコーポレーションの仲津 定宏氏に、易経実践家で社会保険労務士の飯田 吉宏氏の易経セミナーを受講した経緯や感想を詳しく伺いました。

Company profile

株式会社アントレ・ラボコーポレーション

2014年創業。「『個』の輝ける社会を創造する」を企業理念に、ふたつの事業の柱を持つ。ひとつは、ユニークな企業研修、セミナー・イベントの企画立案・運営サポートを行う。研修のメニュー数は200前後。マネジメント系、事業企画系、コミュニケーション、メンタル、コーチングや教養など幅広い研修メニューを提供。また新規事業やプロジェクトの立ち上げ支援を目的に、事業企画や人材・資金の調達支援や営業代行などを実施。多様な分野で、ユニークなスキルを持つ専門家が集い、異業種の企業や人を結びつけるコーディネーターで事業を展開している。

(URL : <http://www.entrelabo.co.jp/>)



アントレ・ラボコーポレーション
“思い”を「カタチ」にする



株式会社アントレ・ラボコーポレーション 代表取締役 仲津 定宏(なかつ・さだひろ)氏

存在ですね。

易経の教えを知ったことで、仕事上の立ち位置や業界でのポジションなど、自分の置かれたステージを俯瞰して見られるようになっていました。

---「ご自身を俯瞰して見る」とは?

私がセミナーで知った易経の話は、一匹の龍の成長を通じて世の中の原理原則を知ることでした。その原理原則というのは、物事の榮枯盛衰にあたります。日本に春夏秋冬の季節があるように、仕事も同様にいいときもあれば、スムーズに物事が運ばないときもあるものです。

特にうまくいかなかったときは、易経の話と照らし合わせて客観的に冷静になることが大事です。「ああ、自分は易経のある場面だな」と。

それから、易経は経営者の一大仕事、「引き際」に関しても語られていることが私には印象に残りました。どのように後世に仕事を引き継ぐのか、そして自分はどうあるべきかと考えさせられます。



「易経の教えを知ったことで、自分の置かれたステージを俯瞰して見られるようになっています」

---易経が経営の道しるべの役割を果たしているのですね。

ええ。よくメンターを付ける人がいるじゃないですか。私はメンターがないので、もしかしたら易経がメンターの役割を果たしているのかもしれません。易経を知ったことで意志決定の客観的な材料を得られるようになりましたから。

易経のセミナーに参加して

---セミナーに参加した感想についてお聞かせください。

易経に関する書物もありますので、おひとりで勉強することもできると思うんです。でも、本を読むことはインプットしかできませんよね。ところがセミナーに来てアウトプットもできる。そこで理解

易経との出会い

---易経との出会いについて教えてください。

私が「易経」を知ったのは、飯田さんと知り合ってからです。当初、易経は「中国の占いかな?」と思ったんです。でも、そしたら違って易経というひとつの教養、リベラルアーツであることが分かりました。

その後、気軽に気持ちでセミナーに参加してみたらすごく面白くて、易経の教えがビジネスに生かせるではないですか。一度のセミナーでたくさんの気づきをいただくことができたのですます興味を持ちました。

(飯田) 飯田です。易経をはじめて知る人はたいてい「占い」だと思っている方がほとんどです。確かに現代では占いの書として扱われていますが、本来は国を治めるために君主が学んできた「帝王学の書」なんですよ。

私は経営者やリーダー向けに易経を紐解いて、ケーススタディを交えながらセミナーを行なっています。仲津様にはその易経のセミナーを主催していただいたり、頻繁に参加していただいているいます。いつもありがとうございます。



「易経は占いではなくひとつの教養、リベラルアーツです」と仲津氏

易経を学んで得られたこと

---易経の第一印象を教えてください。

易経は「自分のことを客観的に知れる物差し」だと思います。言い換えるなら「ビジネスにもプライベートにも使える羅針盤」のような

が進みます。

また、セミナーの参加者が質問したことで自分ひとりでは考えられなかつた視点で易経を学ぶことができます。



セミナーの様子。「易経のセミナーは、忙しい毎日のなかで自分のことを考える時間という意味合いもあります」と仲津氏

---具体的に、セミナーではどのような学びがありますか？

ケーススタディで問題を捉えて、参加者みんなで意志決定のシェアをしていますね。

例えばニュースになっている企業の不祥事の事例をもとに易経の内容と重ね合わせて、「この状況だったら、こういう意志決定をすべきだよね」と議論します。そのケーススタディを通して色々な状況を想像することができる。そのおかげで、結果的に自分自身の経営の意志決定にも役立てることができています。

---参加者の職業やセミナーの雰囲気について教えてください。

参加者の人たちは経営者だったり、ビジネス書の著者だったり、コンサルタントなどご自身で事業をされている方が大半です。最初は半信半疑で来られていると思うのですが、来てみたら学びが多く、結果的にビジネスを俯瞰できるから続けているのだと思います。

私は研修会社の経営者ですから、弊社でも飯田さんのセミナーを開催することがあります。そのセミナーでは特に初心者を意識して、わかりやすい内容にこだわって進行しています。毎回5名前後のアットホームなセミナーなので、質問も飛び交って活気のある場になっていますよ。

易経実践家の飯田吉宏について

---易経実践家の飯田氏はどのような方でしょうか？

教え方が丁寧で、語り口に引き込まれますね。易経の原文に難解なイメージを持っている方も多いと思いますが、飯田さんが事例を交えながら教えてくださることで身近な話題となって耳に入ります。また、飯田さんは客観的に物事を捉えることができる方ですので、セミナーに参加している経営者に対しても良きコンサルタントとして的確なアドバイスをされています。

それもそのはずで、もともと飯田さんは易経実践家でありながら



易経実践家の飯田吉宏

社会保険労務士の資格もお持ちなんですね。易経に関しても、社会保険労務士に関しても、「人にまつわる事業」という点で一貫した使命をお持ちなのかもしれません。

(飯田) 「社会保険労務士と易経実践家では、全く別のことを行っているんですよね？」と聞かれことが多いのですが、私は共通点のあるものだと感じています。

社会保険労務士の仕事は、企業の労務管理のサポートです。どのような施策を実行すれば従業員のモチベーションが上がり、労使トラブルの防止や業績向上に繋がるか提案して、現場への落し込みを行なっています。

一方で易経は3千年に渡って伝えられてきたリーダーのあるべき姿を示していますから、経営者の考え方や置かれている状況と、易経の内容をすり合わせることで、労使間の問題の解決策を見出したり、最適な意志決定の支援にも手を差し伸べることができます。

社会保険労務士と易経はまるで別のように感じるかもしれません。経営者の意志決定から、その考えに基づいた施策の支援まで、一貫してサービスを提供できると考えています。

易経を学ぼうか悩んでいる方に向けて

---最後に易経を学ぼうか悩んでいる方に向けてメッセージを。

易経は教えられる人が限られています。つまり、学べる場所もほとんどないということです。特に、占いではなくビジネスの視点で教えられる人物は数少ないでしょう。

易経は頭で理解しようとするのではなく、まずは講師の言葉を通じてその世界を体感することが大切だと思います。私は定期的にセミナーに参加していますが、毎回楽しく多くの気づきをいただいている。易経に興味がある方は、基礎から学べる講座も開講されているので参加されてみてはいかがでしょうか。

飯田さん、今後ともよろしくお願いいたします。



易経実践家の飯田吉宏（写真左）と一緒に。「数少ない易経実践家としてますます日本のビジネスのため、社会のための活動を」

～お忙しいなか、取材にご協力いただきありがとうございました～

取材日時：2016年3月 取材執筆・撮影：高橋 かずえ

お問い合わせ

プレアデス・コンサルティング株式会社

【公式サイト】<http://www.i-ekikyo.com/>

【メールアドレス】info@pleconsul.jp

【TEL】03-3884-1027 【移動オフィス】090-6041-7134

